

「今週の1枚」



クサギ （クマツツラ科）

伐採跡地や林縁など、日当たりの良い肥沃地に生育する落葉低木で樹高は2-3mになる。葉や枝に臭いがある「臭い木」なのでクサギという。わかり易い名のつけ方なので、樹木案内では葉をちぎって、においをかいでもらう。ところが、「いい匂いがする」という感想が時々あるので、名の説明に困ることがある。少しだけならば、いい香りと感じ、強いと不快な感じになるのは普通の香水でも同じこと。クサギの場合も、少しだけかいだときや、花の匂いは悪くないようだ。花は筒状で先が5つに分かれているが、雄しべは4本、1本は雌しべ（写真では垂れている）である。赤いガクは花が散った後も残り、青紫の果実を目立たせる。

（No.66 2002.9.9 掲載）

Clerodendrum trichotomum Thunb. (Verbenaceae)

Deciduous shrub, up to 2-3 m high, a typical pioneer in secondary succession in temperate to subtropical zones. Japanese name Kusagi means "a tree smells nasty".